

## 【報告事項】 「さがみロボット産業特区」の令和元年度及び令和2年度の取組

### 1 取組の概要

「さがみロボット産業特区」（以下「本特区」という。）は、平成25年2月に国から地域活性化総合特区の指定を受けた。

平成30年4月には、平成30年度以降5年間の計画（第2期計画(平成30～令和4年度)）が認められ、生活支援ロボットの実用化を通じた県民生活の安全・安心の確保及び地域経済の活性化に向けた取組を引き続き実施している。

### 2 主な取組

#### (1) 生活支援ロボットの実用化促進

##### ア 公募型「ロボット実証実験支援事業」

ロボットの実用化を図る上で不可欠な実証実験の計画を全国から募集し、実証場所やモニターに関する調整、実証に係る経費の一部支援などを行う。

令和元年度は「認知症の未病改善セラピー小型動物ロボット」など12件を採択した。

令和2年度は、前期と後期の2回に分けて募集することとし、合計9件程度のプロジェクトの採択を予定している。

##### イ 最先端ロボットプロジェクト推進事業

経済的効果、県民生活への影響、発展、注目度等に優れた最先端のロボットプロジェクトに対して、商品化に向けた実証実験の実施や改良、広報等について支援を行う。

令和元年度は、「Low-Speed Automated Driving（低速自律走行バス）による無人移動サービス実用化に向けた自律走行実証」（写真）など2件のプロジェクトを採択した。



令和2年度は、2件程度のプロジェクトの採択を予定している。

##### ウ 重点プロジェクト

ロボットの開発プロジェクトのうち、早期の実用化が期待できるものや、県民生活に大きなインパクトを与えるものなどを、「重点プロジェクト」に指定し、実証場所やモニターに関する調整、実証に係る経費の一部支援などを複数年にわたり実施している。

令和2年度は「トンネルスキャンロボット」（写真）など2件のプロジェクトを採択等を行い、令和2年6月1日現在で、24件のプロジェクトが指定されている。



エ 神奈川県オープンイノベーション

県と産業技術総合研究所の連携のもと設置した「ロボット研究会」において、企業等の技術連携を促進し、ロボットの商品化を目指している。

令和2年3月31日現在の研究会参加者は企業や大学等265者、プロジェクトは「精密農業用ドローンシステム」(写真) など11件が共同開発中である。



(参考) 令和元年度に商品化したプロジェクト 4件

プロジェクト名	事業主体	プロジェクト名	事業主体
手指のリハビリを支援するパワーアシストハンド (エアレハ500)	(株)エルエーピー	腰への負担を人工筋肉で軽減するマッスルスーツ	(株)イノフィス
			
プロジェクト名	事業主体	プロジェクト名	事業主体
無線操作による 360° 水中映像モニタリングロボット	(株)渋谷潜水工業	床面ひび割れ検知ロボット	(株)イクシス
			

オ プレ実証フィールドの整備・運営

平成26年度に相模原市南区の元県立新磯高等学校を活用して「プレ実証フィールド」を開設した。小型飛行ロボット (ドローン) 実験用ネット、実験用模擬道路などの設備を備え、本格的な実証実験を行う前に模擬的な環境でロボットの完成度を高める「プレ実証 (実験)」の場として提供している。

カ さがみロボット産業特区参加促進事業

中小企業等がロボットの関連産業に関わる機会を提供するとともに、ロボットを活用した新たな市場形成の可能性を示す取組を実施する。

## (ア) マッチングの促進

令和元年度は、県内中小企業やロボット開発企業に向けて、ユーザーがニーズ発信するマッチングフォーラムを計3回開催し、延べ60件のビジネスマッチングを実施した。

令和2年度は、これまでの企業間のマッチングのフォローアップや情報発信を充実させ、コーディネーター等の支援のもと、マッチングを促進していく。

## (イ) テクニカルショウヨコハマでの特区特設コーナーの設置

令和元年度は、テクニカルショウヨコハマ2020において、特区特設コーナーを設置するとともに、生活支援ロボット関連産業に精通した有識者などを招き、生活支援ロボットの活用事例等についてのディスカッションを実施した。

令和2年度も、特区特設コーナーの設置を予定している。

## (2) 生活支援ロボットの普及促進

### ア ロボット導入支援事業

民間施設等へのロボット普及を促すため、本特区の取組を活用して商品化されたロボットの導入経費に対して助成している。(補助率：1/3)

令和元年度は、新たに4種類のロボットを補助対象に追加した。

令和2年度は、さらにロボットの製造元から直接貸与を受ける場合の費用についても補助対象とし、6月3日から募集を開始している。

### イ ロボット体験施設

藤沢市辻堂のロボット展示施設「ロボテラス」(アイクロス湘南内)に、ロボットを実際に体験できる施設を設置している。

(令和元年度実績) 来場者数：延べ8,731人

### ウ ロボット体験キャラバン・モニター制度

福祉施設職員等実際にロボットを体験してもらう「ロボット体験キャラバン」や、ロボットを1か月程度試用する「モニター制度」を実施している。

使用者からの声は、ロボット開発を行う上で貴重な情報のため、開発企業にフィードバックしている。

(令和元年度実績) ロボット体験キャラバン実施件数：59件

モニター制度実施件数：23件



## エ ロボット共生社会推進事業

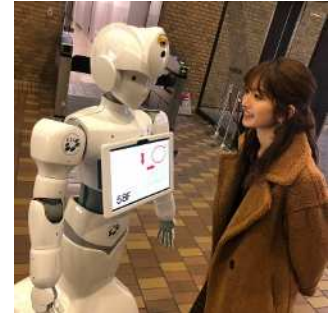
ロボットと共生する社会の実現に向け、共生のイメージを分かりやすく発信する取組を実施している。

令和元年度は、辻堂駅周辺の街なかで活躍するロボットや江の島周辺における自動運転バスの実証実験（写真）を実施した。令和2年度も同様の取組を予定している。



## オ さがみロボット産業特区スペシャル動画の公開

ロボットと共生する社会のイメージを広く浸透させるため、「今から少し先の未来」を舞台に、様々なロボットと共に暮らす1週間を描いたスペシャル動画を令和2年2月10日から「かなチャンTV」等で公開している。



「ROBOT TOWN SAGAMI」スペシャル動画特設ページはこちらから➡

## （参考1）第2期計画における目標の達成状況

### ○特区発ロボットの商品化状況(累計)

令和2年3月31日現在(件)

	第1期	第2期				
	平成25～29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標値	12	5	10	15	20	25
実績値	15	6	10	-	-	-

### ○実証実験等の実施件数(累計)

令和2年3月31日現在(件)

	第1期	第2期				
	平成25～29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標値	90	40	80	120	160	200
実績値	186	57	111	-	-	-

### ○県の企業誘致施策等を活用したロボット関連企業の件数(累計)

令和2年3月31日現在(件)

	第1期	第2期				
	平成25～29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標値	35	5	11	18	26	35
実績値	15	4	10	-	-	-

○生活支援ロボットに関する特区の取組に参加する県内中小企業の数(累計)

令和2年3月31日現在(社)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標値	20	40	60	80	100
実績値	20	30	—	—	—

○生活支援ロボットの導入施設数(累計)

令和2年3月31日現在(箇所)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標値	50	100	150	200	250
実績値	104	171	—	—	—

○生活支援ロボットを体験する取組に参加した人数(累計)

令和2年3月31日現在(人)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標値	4,000	60,000	70,000	80,000	90,000
実績値	30,285	61,221	—	—	—

(参考2) 特区の評価

地域活性化総合特区については、毎年度、国の「総合特別区域評価・調査検討会」による分野ごとの評価が行われている。令和元年12月20日に平成30年度の評価結果が国から公表された。

「さがみロボット産業特区」の評価

- ・アジア拠点化・国際物流分野…4特区中1位
- ・ライフ・イノベーション分野…10特区中1位